

お願いとご注意

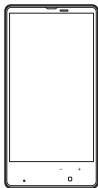
— 重要なお知らせ —

SoftBank 303SH

お買い上げ品の確認

このたびは、SoftBank 303SHをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

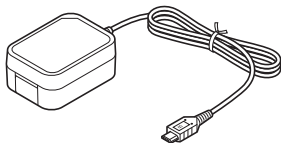
■ 303SH本体



※電池は、本機に内蔵されています。

※本体の背面カバーは外れません。

■ ACアダプタ(SHCEJ1)



■ クイックスタート

■ お願いとご注意(本書)

■ 保証書(本体、ACアダプタ)

■ microSDカード※(試供品)



※お買い上げ時には、本機に取り付けられています。

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本機はmicroSD/microSDHC/microSDXCカードを利用できます。本書ではmicroSDカード(microSDHC/microSDXCカードを含む)を、以降「SDカード」と記載いたします。

目次

| | | | |
|----------------------|----|--------------------------|----|
| マナーとルールを守り安全に使用しましょう | 2 | ソフトウェア更新 | 13 |
| 本機の充電 | 4 | 安全上のご注意 | 14 |
| USIMカード／SDカードについて | 5 | お願いとご注意 | 22 |
| 防水性能について | 7 | 知的財産権について | 28 |
| 暗証番号について | 10 | 携帯電話機の比吸収率 (SAR) について | 33 |
| PINコードについて | 10 | 保証とアフターサービス | 35 |
| おもな仕様 | 11 | Quick Tips | 36 |
| 使用材料 | 12 | ※ お問い合わせ先一覧は裏表紙に記載しています。 | |

マナーとルールを守り 安全に使用しましょう

ルールを守りましょう

本機の使いかたを誤ると、機器の発熱・破壊・感電といった危険を伴い、死亡または重傷を負う恐れがあります。以下の内容および「安全上のご注意」(P.14ページ)をお読みのうえ、正しくお使いください。



こんな使いかたはやめましょう

■ 端子を接触させない

端子に金属製のストラップやヘアピンなどが触れないようにしてください。ショートによる火災や故障などの原因となります。



■ 分解／改造しない

キャビネットを開けたり改造しないでください。感電やけがの原因となります。修理などはソフトバンクにご依頼ください。



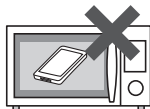
■ 防水を過信しない

防水であっても、水中に沈めたり大量の水をかけると、内部に水が入り火災や感電の原因となります。また、真水以外はかけないでください。



■ 加熱しない

乾燥などの目的で、電子レンジなどの加熱調理機器に入れないでください。また、高温になる場所で使用しないでください。



■ 指定品以外は使用しない

充電器などは必ずソフトバンク指定のものをお使いください。



■ 運転中は使用しない

自動車などの運転中は絶対に使用しないでください。メールを見るだけで処罰の対象となります。



こんな場所では電源を切りましょう

■ 航空機内

運航の安全に支障をきたす可能性があります(航空機内で携帯電話を使用できるときは、航空会社の指示に従い、適切にご使用ください)。

■ 病院内

医用電気機器に影響を及ぼす可能性があります。

マナーを守りましょう

本機をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。

次のような場所では、特にご注意ください。

■ 電車やバスなどの交通機関

車内のアナウンスや掲示に従いましょう。

■ 劇場や映画館、美術館など

周囲の迷惑にならないよう電源を切っておきましょう。

■ レストランやホテルのロビーなど

静かな場所では、大きな声での通話は控えましょう。

■ 街の中

通行の妨げにならない場所で使いましょう。

■ 混雑した場所

事前に機内モードに設定、または、電源を切ってください。付近にペースメーカなどを装着されている方がいると、誤動作などの影響を与えることがあります。

マナーを守るための便利な機能

マナーモード

着信があったりアラームが動作しても、本機から音が出ないようにします。

簡易留守録

電話に出られないとき、相手のメッセージを本機に録音します。

機内モード

電源を入れたまま、電波の送受信だけを停止します。

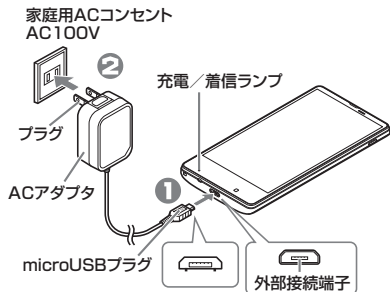
本機の充電

お買い上げ時、本機は十分に充電されていません。本機を初めて使うときは、必ず充電してから、電源を入れてください。

- 電池残量が少なくなっていると、電源が入らないことがあります。
- 充電しても電源が入らない場合は、ソフトバンクショップへご相談ください。

ACアダプタを利用する

付属のACアダプタを使用して充電します。



① 本機の外部接続端子に、ACアダプタのmicroUSBプラグを差し込む

- microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、本機の外部接続端子が破損することがあります。microUSBプラグの形状と向きをよく確かめてから差し込んでください。

② ACアダプタのプラグを起こし、家庭用ACコンセントに差し込む

- 充電/着信ランプが赤色に点灯することを確認してください(電池残量がフル充電に近い状態のときは、緑色に点灯します)。
- 充電が完了すると、充電/着信ランプが消灯します。

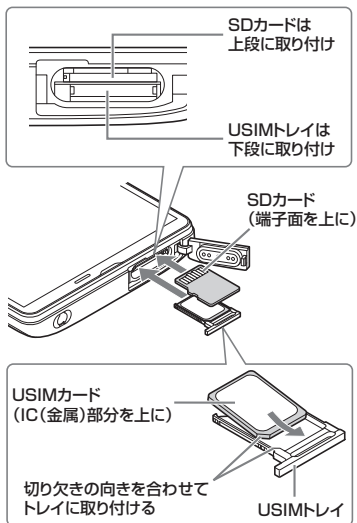
③ 充電完了後は、本機の外部接続端子から、ACアダプタのmicroUSBプラグを取り外し、ACアダプタのプラグを家庭用ACコンセントから抜き、プラグを元の状態に戻す

USIMカード / SDカード について

カードの取り付け / 取り外し

USIMカードとSDカードの取り付け位置は上下2段構造となっています。位置や向きに注意して差し込んでください。

- 取り付け / 取り外しは必ず電源を切ったあとで行ってください。
- USIMカードは、あらかじめUSIMトレイに取り付ける必要があります。



- USIMカードを取り付け / 取り外するには、あらかじめSDカードを取り外す必要があります。
- SDカードを取り外す際は、SDカードを軽く押し込んだあと、指を離します。SDカードが少し飛び出てきますので、ゆっくりと水平に引き抜いてください。
- USIMトレイを取り外す際は、USIMトレイを強く引き出したり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。USIMトレイに指をかけて、ゆっくりと水平に引き抜いてください。

SDカードについて

■ 試供品のSDカードについて

お買い上げ時には、試供品のSDカードが取り付けられています。

- 試供品のSDカードは、保証の対象外となります。

■ microSDXCカードについて

本機は、SDXC規格のSDカード(microSDXCカード)に対応しています。

- microSDXCカードは、SDXC規格対応機器でのみご使用いただけます。
- 万一、本機で使用したmicroSDXCカードをSDXC規格非対応機器に取り付けるときは、データが破損することがあります。また、フォーマット(初期化)を促すメッセージが表示された場合は、実行しないでください。
 - フォーマットすると、microSDXCカード内のデータはすべて消去され、異なるファイルシステムに書き換えられます。
 - フォーマットにより、本来の容量で使用できなくなることがあります。
 - データが破損したmicroSDXCカードの再使用にあたっては、SDXC規格対応機器での再フォーマットが必要です。
- 本機とSDXC規格非対応機器との間でデータをやり取りするときは、本機と相手機器の規格両方に準拠したSDカード(microSD/microSDHCカード)をご使用ください。

SDカード利用時のご注意

- SDカードを無理に取り付けたり、取り外したりしないでください。
- SDカードは、小さなお子様の手の届かない所で保管/使用してください。誤って飲み込むと、窒息する恐れがあります。
- 端子面に手や金属で触れないでください。
- SDカードの登録内容は、事故、故障、修理、機種変更などの際や、その他の取り扱いなどによって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは定期的にバックアップをとっておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- データの読み出し中や書き込み中は、絶対に本機の電源を切らないでください。
- データの消去や上書きなどにご注意ください。

防水性能について

本機の防水性能

本機は、カード挿入口キャップをしっかりと閉じた状態で、IPX5(旧JIS保護等級5)^{*1}、IPX7(旧JIS保護等級7)^{*2}相当の防水性能を有しています。(防塵性能は有しておりません。)

^{*1} IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から約12.5リットル/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

^{*2} IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところにて電話機を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- 本機は、IPX5/IPX7の防水性能を有していますが、清涼飲料水、海水などが入った場合には、故障の原因となることがあります。

本機のお取り扱いについて

- カード挿入口キャップはしっかりと閉じてください。パッキンとの接触面に細かいゴミ(髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など)がはさまると、水が入る原因となります。
- カード挿入口キャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切ってください。
- 本機が濡れているときは、乾いたきれいな布で拭き取ってください。

- 手や本機が濡れているときに、カード挿入口キャップの開閉は絶対にしないでください。
- イヤホンマイク端子、外部接続端子は、濡れていたり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水性能が損なわれたり、感電や回路のショートなどによる、故障・やけど・火災の原因となります。
- 常温(5℃～35℃)の真水・水道水にのみ対応しています。

使用時のご注意

- 本機に次のような液体をかけたり、つけたりしないでください。
 - 石けん、洗剤、入浴剤を含んだ水
 - 海水、プールの水
 - 温泉、熱湯 など
- 海水やプールの水、清涼飲料水などがかかったり、ホコリ、砂、泥などが付着した場合には、すぐに常温(5℃～35℃)の真水・水道水で洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、故障の原因となります。
- 湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用しないでください(キー操作を含む)。
- 本機は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水(6リットル/分を超える)を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 風呂場など湿気の多い場所には、長時間放置しないでください。また、風呂場で長時間利用しないでください。
- 送話口、受話口、スピーカー一部の穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなる場合があります。十分に水抜きと乾燥(12ページ)を行ったうえでご使用ください。

- 充電器・オプション品は、防水／防塵対応していません。屋外や風呂場、洗面所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 落下させるなど、本体に強い衝撃を与えたり、送話口、受話口、スピーカーなどをとがったものでつかないでください。
- 砂浜、砂場などの砂の上に直接置かないでください。受話口、スピーカーなどに砂が入り、音が小さくなる恐れがあります。
- 結露防止のため、寒い場所から風呂場などへは本機が常温になってから持ち込んでください。万一、結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
- 本機は水に浮きません。
- 強い雨の中では使用しないでください。

充電時のご注意

- 本機が濡れているときは絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障・やけどの原因となります。必ず乾燥させてからお使いください。
- 充電器は、水周りで使用しないでください。火災・感電の原因となります。

防水性能を維持するために

- カード挿入口キャップのゴムパッキンは、防水性能を維持するための重要な役割を担っています。次のことにご注意ください。
 - はがしたり、傷つけないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
 - カード挿入口キャップのすき間、イヤホンマイク端子部、外部接続端子部に、先のとがったものを差し込まないでください。
 - カード挿入口キャップが傷ついたり、変形したりしたときは、「ソフトバンクショップ」にご相談ください。

- 防水性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回、カード挿入口キャップを交換することをおすすめします。お客様ご依頼によるカード挿入口キャップの交換は、本機をお預かりして有料にて承ります。「お問い合わせ先」(裏表紙)または「ソフトバンクショップ」へご相談ください。

本機の洗いかた

- 本機に汚れ、ホコリ、砂、清涼飲料水などが付着したときは、汚れを軽く布で除去し、やや弱めの水流[6リットル/分以下、常温(5℃～35℃)の水道水]で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。カード挿入口キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください。よく乾燥したあと、電源を入れてください。
- カード挿入口キャップが、きちんと閉まっていることを確認してから洗ってください。
 - 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
 - イヤホンマイク端子部、外部接続端子部は、特にホコリや砂などの汚れが付着しやすい部位です。汚れを残さないようしっかりと洗い流してください。また、水洗い後は十分に乾燥したことを確認したうえでご使用ください。砂や水滴が端子部に残ったままの状態でご使用になりますと、故障・やけど・火災の原因となります。
 - イヤホンマイク端子部、外部接続端子部を洗うときは、綿棒などの道具を使用したり、布を端子内部に押し込んだりしないでください。防水性能が損なわれるなど、故障の原因となります。

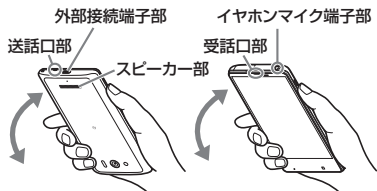
水抜きの方法

水に濡れたあとは、必ず「外部接続端子部」、「送話口部」、「スピーカー部」、「イヤホンマイク端子部」、「受話口部」の水抜きを行ってください。

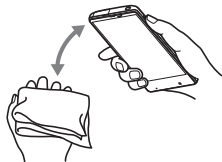
- 本機を振るときは、落とさないようにしっかりと握ってください。

① 本機表面の水分を乾いた布などで拭く

② 本機をしっかりと持ち、20回程度振る



③ 各部の穴やすき間に入った水分を、乾いた布などに押し当てて拭き取る



- 各部の穴に水がたまっていることがありますので、布を当て軽くたたいて水を出してください。

④ 乾いた布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置する

水を拭き取る際の注意点

- 各部の穴の水を抜く際は、布や綿棒などを内部に押し込んだりしないでください。防水性能が損なわれることがあります。

水抜き後の注意点

- 水滴が付着したままで使用しないでください。
 - 通話不良となったり、衣服やカバンなどを濡らしてしまうことがあります。
 - イヤホンマイク端子、外部接続端子などがショートする恐れがあります。
 - 寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。

暗証番号について

本機の使用にあたっては、次の暗証番号が必要となります。

| | |
|--------------------------|--|
| 操作用暗証番号 | 各機能を利用するときの暗証番号です(お買い上げ時は設定なし)。 |
| ロックNo. | 画面ロックの解除を行うときに使う暗証番号です。 |
| 交換機用暗証番号 (発着信規制用暗証番号) | ご契約時の4ケタの番号です。契約内容の変更、オプションサービスを一般電話から操作するとき、発着信規制サービスの設定を行うときに使います。 |

暗証番号はお忘れにならないよう、他人に知られないようご注意ください。

他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要となります。詳しくは、ソフトバンクモバイルホームページを参照してください。

暗証番号の入力間違いについて

- 各機能が暗証番号の入力を間違えると、間違いを知らせるメッセージが表示されます。操作をやり直してください。
- 交換機用暗証番号(発着信規制用暗証番号)の入力を3回間違えたときは、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。このときは、交換機用暗証番号(発着信規制用暗証番号)の変更が必要となりますのでご注意ください。
 - 以前、携帯電話から発着信規制用暗証番号を変更されたお客様は、発着信規制を設定する際に、その変更後の番号を入力してください。

PINコードについて

PINコードとは、USIMカードの暗証番号です。第三者による本機の無断使用を防ぐために使います(USIMカードお買い上げ時は「9999」に設定されています)。

PINコードを変更する(USIMカードをロック)

- 電源を入れたとき、PINコードを入力しないと本機を使用できないように(USIMカードをロック)することができます。

1 アプリケーションシートで **設定** → **その他の設定** → **ロックとセキュリティ** → **USIMカードロック設定**

2 **USIMカードをロック** → 現在のPINコード入力 → **OK**

- USIMカードロックが有効となり、PINコードを変更できる状態となります。

3 **USIM PINの変更** → 現在のPINコード入力 → **OK** → **新しいPINコード入力** → **OK** → **新しいPINコードを再度入力** → **OK**

- PINコードの入力を3回間違えると、PINロックが設定され、本機の使用が制限されます。
- PINロックを解除するときは、お問い合わせ先(お客様相談室)で、「PINロック解除コード(PUKコード)」をご確認ください。
- PUKコードの入力を10回間違えると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。このときは、「ソフトバンクショップ」にてUSIMカードの再発行(有償)が必要になりますので、ご注意ください。

おもな仕様

仕様変更などにより、内容が一部異なることがあります。

303SH本体

| | |
|-----------------------|--|
| 質量 | 約●g(内蔵電池を含む) |
| 内蔵電池容量 | ●mAh |
| 連続通話時間※1 | 約●分(3Gモード) 約●分(GSMモード) |
| 連続待受時間※2 | 約●時間(3Gモード) 約●時間(GSMモード) 約●時間(4Gモード:AXGP網) 約●時間(4Gモード:FDD-LTE網) |
| ワンセグ連続視聴時間※3 | 約●時間 |
| 充電時間(本機の電源を切って充電した場合) | ACアダプタ:約●分 シガーライター充電器:約●分 |
| サイズ(幅×高さ×奥行) | 約●×●×●mm (突起部除く) |
| 最大出力 | 3G:●W GSM(900MHz):●W、GSM(1800MHz,1900MHz):●W 4G:●W |

※1 連続通話時間とは、電池の充電を満たし、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。

※2 連続待受時間とは、電池の充電を満たし、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。データ通信/緊急速報メールを無効に設定したときの数値です。また使用環境(充電状況、気温など)や機能の設定状況などにより、ご利用時間が変動することがあります。

※3 ワンセグ連続視聴時間とは、電池の充電を満たし、サウンド設定「●」、横画面フルスクリーン表示、別売のマイク付ステレオイヤホンを使用し、音量最大、電池残量約●%を残した計算値です。電波状況、再生コンテンツにより、ご利用時間が変動することがあります。

- 左記の時間は、エコバックライトコントロールを「●」、アウトドアビューを「●」、画面の明るさを「●」段階中の●段階目に設定したときの数値です。
- お使いの場所や状況、設定内容によって、左記の時間は変動します。
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られています。画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、あらかじめご了承ください。

付属品

■ ACアダプタ(SHCEJ1)

| | |
|--------------|----------------------------|
| 電源 | AC100V-240V、50/60Hz共用 |
| 出力電圧/出力電流 | DC5.0V/1.0A |
| 充電温度範囲 | 5℃~35℃ |
| サイズ(幅×高さ×奥行) | 約40×53×23mm (突起部、コード除く) |
| コードの長さ | 約1.5m |

ソフトウェア更新

ネットワークを利用して本機のソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要ときには手動で更新できます。

- お買い上げ時は「自動更新する」に設定されています。



ソフトウェア更新を行う前に

- 本機の状況(故障・破損・水濡れなど)によっては、保存されているデータが破棄されることがあります。必要なデータは、ソフトウェア更新前にバックアップしておくことをおすすめします。なお、データが消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ソフトウェア更新についてのご注意

- 更新が完了するまで、本機は使用できません。
- 電波状態のよい所で、移動せずに操作してください。また、電池残量が十分ある状態で操作してください。更新途中で電波状態が悪くなったり、電池残量がなくなると、更新に失敗することがあります(更新に失敗すると本機が使用できなくなることがあります)。
- 他の機能を操作しているときは、ソフトウェア更新は行えません。
- 本機にPC接続用microUSBケーブル(オプション品)を接続しているときは、取り外してください。そのままソフトウェア更新を実行すると、正しく完了できないことがあります。

手動でソフトウェア更新する

- 1 アプリケーションシートで  (設定)
- 2 端末情報
- 3 ソフトウェア更新
- 4 ソフトウェア更新  実行

- 以降は、画面に従って操作してください。

自動更新の開始時刻を変更するとき



- 操作④で **更新時刻設定** をタップし、開始時刻を変更します。

■ ソフトウェア更新が完了すると

ソフトウェア書き換え完了画面が表示されたあと、自動的に再起動します。

- 再起動後、更新完了のメッセージとインフォメーションが表示されます。

ソフトウェア更新後に再起動しなかったとき




- 本機を再起動(強制的に電源を切る:  26ページ)してください。それでも起動しないときは、ご契約のソフトバンクの故障受付( 裏表紙)にご相談ください。

安全上のご注意







ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。また、お読みになっ
たあとは大切に保管してください。

- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の
人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容
を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通
話などの機会を逸したために、お客様、または第三
者が受けられた損害につきましては、当社は責任を
負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用
をした場合に生じる危害や損害の程度を説明して
います。内容をよく理解したうえで本文をお読みく
ださい。

| | |
|--|---|
|  危険 | <p>この表示は、 取り扱いを誤った場合、 「死亡または重傷を負う危険が切 迫して生じることが想定される」 内容です。</p> |
|  警告 | <p>この表示は、 取り扱いを誤った場合、 「死亡または重傷を負う可能性が 想定される」内容です。</p> |
|  注意 | <p>この表示は、 取り扱いを誤った場合、 「軽傷を負う可能性が想定される 場合および物的損害のみの発生 が想定される」内容です。</p> |

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明し
ています。内容をよく理解したうえで本文をお読み
ください。

| | |
|---|--|
|  禁止 | <p>禁止(してはいけないこと)を示します。</p> |
|  分解禁止 | <p>分解してはいけないことを示します。</p> |
|  水濡れ禁止 | <p>水がかかる場所で使用したり、水に濡ら したりしてはいけないことを示します。</p> |
|  濡れ手禁止 | <p>濡れた手で扱ってはいけないことを示し ます。</p> |
|  指示 | <p>指示に基づく行為の強制(必ず実行して いただくこと)を示します。</p> |
|  電源プラグ を抜く | <p>電源プラグをコンセントから抜いていた だくことを示します。</p> |

本機、USIMカード、SDカード、
充電器(オプション品含む)、PC接続用
microUSBケーブル(オプション品)
の取り扱いについて(共通)



危険

本機に使用する充電器(オプション品含む)・PC接続用microUSBケーブル(オプション品)は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。

指定品以外のもを使用した場合は、内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。

本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

本機内部・充電器を濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が本体内部に入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れたまま充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。

使用場所、取り扱いにご注意ください。



指示



分解禁止



水濡れ禁止

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で充電・使用・放置しないでください。

また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所(こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など)においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。

機器の変形・故障や内蔵電池の漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

本機に充電器をうまく取り付けできないときは、無理に行わないでください。microUSBプラグの向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



警告

本機のディスプレイ部には強化ガラスを使用していますが、落下などによる衝撃や無理な力は加えないでください。ディスプレイが破損し、ガラスが鋭い破片となって、激しく飛散する恐れがあります。万一、破損した場合は、破片や破損部分に直接手を触れないようご注意ください。けがの原因となります。



禁止



禁止



禁止

本機・充電器を、加熱調理機器(電子レンジなど)・高圧容器(圧力釜など)の中に入れて、電磁調理器(IH調理器)の上に置いたりしないでください。



禁止

内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、本機・充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所(ガソリンスタンドなど)では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。



指示

ガスに引火する恐れがあります。ガソリンスタンド構内などでNFC(おサイフケータイ®を含む)対応携帯電話をご利用になる際は、電源を切った状態で使用してください(NFC(おサイフケータイ®を含む)をロックされている場合は、ロックを解除した上で電源をお切りください)。

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。



禁止

内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。



指示

1. コンセントやシガーライターソケットから充電器を持ってプラグを抜いてください。
2. やけどやけがに注意して、本機の電源を切ってください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

外部接続端子に、ベットの尿などの液体や導電性異物(鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど)が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。



禁止

ショートによる火災や故障などの原因となります。

本機が濡れている状態で絶対に充電しないでください。



禁止

感電や回路のショートなどによる火災・故障・やけどなどの原因となります。

乾燥などの目的で、ドライヤーなどの温風をあてないでください。また、サウナに持ち込んだり、熱湯をかけたりにしないでください。



禁止

内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、本機・充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。



注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。



禁止

落下して、けがや故障などの原因となります。パイブレータ設定中や充電中は、特にご注意ください。

乳幼児の手の届かない場所やペットが触れない場所に保管してください。



指示

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。



指示

内蔵電池の取り扱いについて



危険

電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

| 表示 | 電池の種類 |
|----------|-----------|
| Li-ion00 | リチウムイオン電池 |

火の中に投下しないでください。

内蔵電池を漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。



禁止

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。



禁止

内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

内蔵電池内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。失明などの原因となります。



指示



警告

内蔵電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。

皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

本機の使用・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して火気から遠ざけてください。

異常な状態のまま使用すると、内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

ペットが本機に噛みつかないようにご注意ください。また、ペットが噛みついた本機は使用しないでください。

内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。



指示



注意

不要になった本機を、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

電池を内蔵していますので、最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。適切に処理いたします。



禁止

本機の取り扱いについて



警告

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。

交通事故の原因となります。

乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。

運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器・植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。

機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。



禁止



指示



指示

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション(振動)や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える恐れがあります。



指示

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。

落雷や感電の原因となります。



指示

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。



禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光しないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止



注意

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。

本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。



禁止

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。

本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります(使用材料: 12ページ)。



指示

本機に磁気カードなどを近づけないでください。



禁止

キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

ストラップなどを持って本機を振り回さないでください。



禁止

本人や周囲の人に当たったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。



指示

長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

着信音が鳴っているときや、本機でメモディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。



禁止

難聴になる可能性があります。

ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。



指示

視力低下につながる可能性があります。

イヤホンを使用するときは音量に気を付けてください。



指示

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳を痛めたりする原因となります。

充電器(オプション品含む) の取り扱いについて



警告

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。



禁止

熱がこもって火災や故障などの原因となります。

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。



禁止

指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。

● ACアダプタ: AC100V~240V(家庭用 ACコンセント専用)

● シガーライター充電器(オプション品): DC12V・24V(マイナスアース車専用)

また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

長時間使用しない場合は、充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。



感電・火災・故障の原因となります。

電源プラグ
を抜く

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持って、コンセントやシガーライターソケットからプラグを抜いてください。



電源プラグ
を抜く

感電・発煙・火災の原因となります。

プラグにほりこがいたときは、充電器を持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などで拭き取ってください。



指示

火災の原因となります。

充電器をコンセントに差し込むときは、充電器のプラグや端子に導電性異物(鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど)が触れないように注意して、確実に差し込んでください。

感電・ショート・火災などの原因となります。

濡れた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。

感電や故障などの原因となります。

雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。

感電などの原因となります。

充電器は、風呂場や洗面所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。

火災・感電・故障の原因となります。

シガーライター充電器(オプション品)は、マイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。

火災などの原因となります。

シガーライター充電器(オプション品)のヒューズが切れたときは、必ず指定のヒューズに交換してください。

指定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。指定のヒューズに関しては、シガーライター充電器の取扱説明書でご確認ください。



指示



濡れ手禁止



禁止



禁止



禁止



指示



注意

お手入れの際は、コンセントやシガーライターソケットから、必ず充電器を持ってプラグを抜いてください。

感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

充電器をコンセントやシガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らず、充電器を持ってプラグを抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。



指示

充電器をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。

けがや故障の原因となります。



禁止

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会[平成9年4月])に準拠、また「各種電波利用機器の電波が挿込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」(総務省[平成25年1月])の内容を参考にしたものです。



警告

挿込み型心臓ペースメーカおよび挿込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。電波により挿込み型心臓ペースメーカおよび挿込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。



指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。



指示

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、身動きが自由に取れないほど混雑した状況等、15cm以上離隔距離を確保できない恐れがある場合には、事前に通信機能が使用できない状態(例:機内モード)に切り替えるか、または携帯電話の電源をお切りください。電源が自動的に入るアプリケーションをインストールしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。



指示

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。



指示

- 手術室・集中治療室(ICU)・冠状動脈疾患監視病室(CCU)には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。
- ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- USIMカードや、USIMカード装着済みの本機を盗難・紛失された場合は、必ずお問い合わせ先(お客様窓口)までご連絡のうえ、緊急利用停止の手続きを行ってください。
- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の人たちの迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- PC接続用microUSBケーブルを使って本機とパソコンを接続すると、自動的に本機の電源が入ることがあります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域では本機とパソコンの接続を行わないようご注意ください。
- 接続環境やパソコンの状態によっては、充電できなかったり、充電に時間がかかったりすることがあります。
- 充電時間は、家庭用ACコンセントで充電したときよりも長くなります。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。

● 傍受(ぼうじゅ)にご注意ください。

本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常的手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。

■ 傍受とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

- インターネットのサイトには、悪質なものや有害なものがあります。特に、個人情報の書き込みなどは慎重に行いましょう。
- 本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがあります。旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。
- 本機では、Google Inc.が提供する「Google Play™」上より、さまざまなアプリケーションのインストールが可能です。お客様ご自身でインストールされるこれらのアプリケーションの内容(品質、信頼性、合法性、目的適合性、情報の真実性、正確性など)およびそれに起因するすべての不具合(ウイルスなど)につきましては、当社は一切の保証を致しかねます。

■ 高温時のご注意

- 操作方法或使用環境によっては、本機の内部温度が高くなり、熱くなることがあります。その際には安全のため、充電が停止したり、画面の明るさが調整される場合があります。また、内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示されたあと、約3分後に電源が切れますのでご注意ください。この場合には、本機の内部温度を下げるため、すべてのアプリケーションを終了してから、画面を消灯してください。

- カメラ使用時は、内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示された約1分後に、撮影データを保存し、自動終了します。

■ 技術基準適合証明について

本機は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合しています。次の操作で、技術基準適合証明に関する情報(☎等)を確認できます。

アプリケーションシートで **設定** ➔ **端末情報**

➔ 技術基準適合証明

■ マナーモードについて

- マナーモードを設定していても、カメラ撮影時のシャッター音、ビデオカメラ撮影時の撮影開始／終了音、音楽・動画・ゲームの音などは鳴ります。

■ カメラについて

- カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
- 大切なシーンを撮影されるときは、必ず試し撮りを行い、画像を表示して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。
- カメラ機能を利用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者(撮影者)などの許可を得ることなく使用したり、転送することはできません。

■ ワンセグについて

- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、ワンセグ視聴が困難になることがあります。また、ワンセグ視聴中に電波状態の悪い場所へ移動すると、映像が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。

■ 通話中／通信中のご注意

- 通話中や通信中は、同時に他の機能を使用している間や各種操作を行っている間も通話料、通信料がかかりますので、ご注意ください。
- JavaScript通信は、通信料が高額になる可能性があります。

■ 緊急速報メールについて

- お買い上げ時、受信設定は「有効」に設定されています。
- 受信時には、マナーモードであっても警告音が鳴動します。
- 通話中、通信中および電波状態が悪い場合は受信できません。
- お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。
- 受信設定を「有効」にしている場合は、待受時間が短くなることがあります。
- 当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

■ SSL/TLSについて

本機には、あらかじめ認証機関から発行された電子的な証明書が登録されており、SSL/TLS(インターネット上でデータを暗号化して送受信する通信方法)を利用できます。

- セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合は、お客様は自己の判断と責任においてSSL/TLSを利用するものとします。お客様自身によるSSL/TLSの利用に際し、ソフトバンク、シャープ株式会社および認証会社である日本ペリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社は、お客様に対しSSL/TLSの安全性などに関して何ら保証を行うものではありません。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

お取り扱いについて

- 電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化したり、本機が使用できなくなることがありますので、ご注意ください。長期間保管・放置するときは、半年に1回程度、目安として電池残量が40%程度の状態で充電してください。
なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は温度：5℃～35℃、湿度：35%～90%の範囲でご使用ください(風呂場などでの一時的な使用に限り、温度36℃～40℃の範囲で可能)。
- 極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所での使用、保管は避けてください。
- 使用中や充電中は本機や内蔵電池が温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 本機のディスプレイを堅い物でこすったり、傷つけないようご注意ください。
- 無理な力がかからないようにお取り扱いください。故障やけがの原因となります。
 - ズボンやスカートのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり椅子などに座らないでください。特に厚い生地の衣服のときはご注意ください。
 - カバンなどに入れるときは、重い物の下にならないように十分ご注意ください。
- 本体の背面カバーは取り外しできません。無理に取り外そうとすると、破損や故障の原因となります。また、防水性能を損なう原因にもなります。

- 端子に指定品以外のは、取り付けしないでください。誤動作したり、破損することがあります。
- SDカードの使用中は本機の電源を切らないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げないでください。事故の原因となります。
- 本機を手を持って使用するときは、受話口や送話口、スピーカーをふさがないようにご注意ください。
- 近接センサーは、通話中にタッチパネルの誤動作を防ぐためのものです。通話中にディスプレイの表示が常に表示された状態になり、操作できなくなる場合がありますので、センサー部分を指でふさいだり、シールなどを貼らないでください。
- 明るさセンサー部分を指でふさいだり、シールなどを貼らないでください。周囲の明るさにセンサーが反応できなくなり、正しく動作しない場合があります。

■リチウムイオン電池について

- 本機は、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
- 充電／着信ランプが点滅しているときは充電ができていません。指定品の充電器を使用して充電してください。それでも充電ができない場合は、「お問い合わせ先」(裏表紙)または「ソフトバンクショップ」へご相談ください。
- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



Li-ion00



モバイルリサイクルネットワーク
MOBILE RECYCLING NETWORK

■ タッチパネルについて

- 次のような操作を行うと、動作しないことがあります。
 - 手袋をした指や爪の先での操作
 - ペン、ボールペン、鉛筆など先のとがったものでの操作
 - 異物をタッチパネルに載せたままでの操作
- 誤動作の原因となりますので、次の点にご注意ください。
 - 濡れた指で操作しない
 - タッチパネルに水滴がついている状態で操作しない
 - 強く押し過ぎない
 - タッチパネルに市販のシールなどを貼らない
- タッチパネルに水滴がついているときは、水滴を柔らかい布などで拭いてからご使用ください。
- タッチパネルで思うように操作できないときは、次の操作を行ってください。

アプリケーションシートで **設定** ➔ **端末情報**

➔ **タッチパネル補正** ➔ 画面に従って操作

- 次のようなときは、**[O]** を押して画面を消灯させたあと、再度 **[O]** を押して画面を点灯させてから操作してください。
 - 画面に触れていないのに、本機が勝手に動作するとき
 - 画面に触れても、本機が反応しないとき

■ セルフチェックを利用する

動作が不安定になったときは、次の操作で原因の自己診断をすることができます。

アプリケーションシートで **設定** ➔ **端末情報**

➔ **セルフチェック** ➔ 画面に従って操作

■ ACアダプタについて

充電するときを除き、プラグは倒してください。また、コードを強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。断線の原因となります。

■ 内蔵電池について

- 次の操作で、内蔵電池の充電能力をご確認ください。

アプリケーションシートで **設定** ➔ **端末情報**
➔ **端末の状態** ➔ **電池の状態**
- 次の操作で、電池の消費を軽減できます。

アプリケーションシートで **設定** ➔ **省エネ** ➔ **エコ技設定** ➔ **エコ技**

 - **エコ技** が有効のときに緑色で表示されます。
- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の保管をしないようにご注意ください。
 - フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
 - 電池残量がない状態(本体の電源が入らないほど消費している状態)での保管
- 内蔵電池の使用条件によって、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れることがありますが、安全上問題はありません。
- 内蔵電池は消耗品です。十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。内蔵電池を交換してください。なお、内蔵電池は、お客様自身では交換できません。内蔵電池の交換については、「ソフトバンクショップ」などで、本機をお預かりして有料にて承ります。「お問い合わせ先」(裏表紙)または「ソフトバンクショップ」へご相談ください。

■ イヤホンマイクについて

市販品のイヤホンマイクを使用すると、正常に動作しない場合があります。指定品のマイク付ステレオイヤホン「SHLDL1」(オプション品)をお使いください。

- イヤホンマイク使用時、イヤホンマイク端子部に強い負荷をあたえると防水性能が損なわれることがありますのでご注意ください。

■ 強制的に電源を切る

本機が動作を停止したり入力を受け付けなくなったりしたときは、強制的に電源を切ることができます。

- [⏻] (8秒以上長押し)

バイプレータが動作したあとに指を離すと、電源が切れます。

■ オールリセットについて

オールリセットすると、本体メモリのデータがすべて消去されます(お買い上げ時にインストールされている一部のアプリケーションも含まれます)。

リセットした内容は、元に戻せませんので、十分にご確認のうえ操作してください。

アプリケーションシートで **[設定]** ➔ **その他の設定** ➔ **オールリセット** ➔ **オールリセット** ➔ **操作暗証番号入力** ➔ **OK** ➔ **携帯端末をリセット** ➔ **すべて消去**

- **microSD内データも消去する** にチェックを入れてオールリセットを実行すると、SDカードに保存されたデータもすべて消去されます。

■ データ引継について

SDカードやBluetooth®機能を利用してほかの携帯電話からデータをインポートしたり、本機のデータをSDカードにバックアップしたりできます。

- 本機にデータをインポートする場合は、あらかじめバックアップデータを保存したSDカードを取り付けておいてください。

アプリケーションシートで **[設定]** ➔ **データ引継** ➔ **画面に従って操作**

Bluetooth®機能について

Bluetooth®機能の利用時に、データや情報の漏洩により発生した損害につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 使用上の注意事項

本機のBluetooth®機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など(以下、「他の無線局」と略す)が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

- 1 Bluetooth®機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを目視で確認してください。
- 2 万一、Bluetooth®機能の使用にあたり、本機と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth®機能の使用を停止(電波の発射を停止)してください。
- 3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

**連絡先: ソフトバンクカスタマーサポート
ソフトバンク携帯電話から 157(無料)**

(一般電話からおかけの場合、裏表紙の「お問い合わせ先」を参照してください)

● 周波数帯について

この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。XX4はその其他方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。

移動体識別装置の帯域を回避することはできません。次の操作で、周波数帯に関する情報を確認できます。

アプリケーションシートで **[設定]** ➔ **端末情報** ➔ **認証**

2.4FH1/XX4

Wi-Fi(無線LAN)について

無線LAN(以降「Wi-Fi」と記載)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、第三者に情報を盗み見られてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

- 電気製品・AV・OA機器などの近くでは利用しないでください。通信速度の低下や通信不可、雑音などの可能性があります(特に電子レンジ使用時は、影響を受けることがあります)。
- 複数のアクセスポイントが存在するときは、正しく検索できないことがあります。

■ 使用上の注意事項

本機のWi-Fiの周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など(以下、「他の無線局」と略す)が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

- 1 Wi-Fiを使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを目視で確認してください。
- 2 万一、Wi-Fiの使用にあたり、本機と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Wi-Fiの使用を停止(電波の発射を停止)してください。
- 3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先:ソフトバンクカスタマーサポート


ソフトバンク携帯電話から 157(無料)

(一般電話からおかけの場合、裏表紙の「お問い合わせ先」を参照してください)

●周波数帯について

この無線機器は、2.4GHz帯と5GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS/OFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40m以下です。

次の操作で、周波数帯に関する情報を確認できます。

アプリケーションシートで  (設定) ▶ **端末情報**

▶ **確認**

2.4DS/OF4

●5GHz帯の使用チャンネルについて

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz帯(W52/W53/W56)の3種類の帯域を使用することができます。

- W52(5.2GHz帯/36, 38, 40, 44, 46, 48ch)
- W53(5.3GHz帯/52, 54, 56, 60, 62, 64ch)
- W56(5.6GHz帯/100, 102, 104, 108, 110, 112, 116, 118, 120, 124, 126, 128, 132, 134, 136, 140ch)

5.2GHz/5.3GHz帯(W52/W53)を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。

■ Bluetooth®との同時利用について

Wi-Fi(IEEE802.11b/g/n)は、Bluetooth®と同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くでBluetooth®機器を利用したり、本機のBluetooth®が有効になっていると、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。接続に支障があるときは、Bluetooth®機器の利用を中止したり、本機のBluetooth®を無効にしてください。

- 本機のWi-Fiで設定できるチャンネルは1-13です。これ以外のチャンネルのアクセスポイントには接続できませんのでご注意ください。
- 利用可能なチャンネルは、国により異なります。
- 航空機内の使用は事前に各航空会社へご確認ください。
- 一部の国/地域では、Wi-Fiの使用が制限されます。海外で利用するときは、その国/地域の法規制など条件をご確認ください。

知的財産権について

肖像権について

- 他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮って公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

著作権について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的のみ行うことができます。この目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作人人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なお使いを心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したのものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作人人格権などをはじめとする著作権等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等を行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本機には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。次の操作で、当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細を確認できます。
アプリケーションシートで **設定** → **端末情報**
→ **法的情報** → **オープンソースライセンス**
- GPL、LGPL、Mozilla Public License (MPL) に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示されています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<https://sh-dev.sharp.co.jp/android/modules/oss/>

商標／登録商標について

動画の撮影／再生の技術には「MPEG-4」が使われています。

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and noncommercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA.
See <http://www.mpegla.com>.

This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC.

See <http://www.mpegla.com> for additional details.

本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ (以下「AVCビデオ」と記載します) を符号化するライセンス、および/または (ii) AVCビデオ (個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限り) を復写するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C. から入手できる可能性があります。<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) VC-1規格準拠のビデオ (以下「VC-1ビデオ」と記載します) を符号化するライセンス、および/または (ii) VC-1ビデオ (個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限り) を復写するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C. から入手できる可能性があります。<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Excel®、PowerPoint®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft® Excel®, Microsoft® Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。

Bluetooth® is a trademark of the Bluetooth SIG, Inc.



The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Sharp is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners. Bluetooth®は、米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。


OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。



microSD, microSDHC, microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

aptXはCSR plc.の登録商標です。

この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント/LCFONTおよびは、シャープ株式会社の登録商標です。

本製品は、無線LAN標準規格のIEEE802.11に基づき、無線LAN機器の相互接続性を保証するためにWi-Fi Alliance®が定めている認証テストをパスしており、「Wi-Fi CERTIFIED™」という認定が与えられています。IEEE802.11a/b/g/n(2.4GHz/5GHz)/ac*に対応しております。

*IEEE802.11acドラフト版に対応しています。今後の正式規格対応商品や他社のドラフト版対応商品とは通信できない場合があります。対応商品については各社のホームページをご覧ください。



Wi-Fi Protected Setup™(WPS)で、無線LANの接続設定内容(SSIDや認証方式、暗号キーなど)をプッシュボタン方式、PINコード入力方式で設定できる機能を有しています。



Wi-Fi®, Wi-Fi Alliance®, Wi-Fi Protected Access®(WPA), Wi-Fi CERTIFIED®ロゴ、Wi-Fi Protected Setup®はWi-Fi Allianceの登録商標です。Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Direct™、Wi-Fi Protected Setup™、WPA2™、Miracast™はWi-Fi Allianceの商標です。

Google™、Google ロゴ、Android™、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴ、Google+™、Google+ ロゴ、Gmail™、Gmail ロゴ、Google カレンダー™、Google カレンダー ロゴ、Google マップ™、Google マップ ロゴ、Google マップ ナビ™、Google マップ ナビ ロゴ、Google+ ローカル™、Google Chrome™、Google Chrome ロゴ、Google 音声検索™、Google 音声検索 ロゴ、Picasa™、Picasa ロゴ、YouTube™ および YouTube ロゴは、Google Inc.の商標です。

DLNA®, DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™ は、Digital Living Network Alliance の商標です。DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance. 本機のDLNAの認定はシャープ株式会社取得しました。

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>) この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com) この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

Portions Copyright © 2004 Intel Corporation この製品には Intel Corporation のソフトウェアを一部利用しております。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd.2008-2014 All Rights Reserved. iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2014 All Rights Reserved.

本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ Mを搭載しています。*新ゴは株式会社モリサワの登録商標です。

TouchSense® Technology and TouchSense® System 3000 Series, and TouchSense® System 5000 Series Licensed from Immersion Corporation, TouchSense® System 3000 Series, TouchSense® System 5000 Series, Integrator and other Immersion software contained herein are protected under one or more of the U.S. Patents found at the following address www.immersion.com/patent-marking.html and other patents pending.



For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited, DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS Sound is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.



[GALAPAGOS STORE]、[AQUOS PHONE]ロゴ、[AQUOS/アクオス]、[AQUOS]ロゴ、[スマートファミリンク/Smart Familink]、「エコ技」マーク、[SHSHOW]ロゴ、「文辞技」、「アウトドアビュー」、「Sweep ON」、「Shake OFF」、「Bright Keep」、「Social Board」、「アナザービュー/Another View」、「フタタッチシャッター」、「書」メモ、「AV家電リンク」、「ウェルカムシート/Welcome Sheet」、「3ラインホーム/3-Line Home」、「NightCatch/ナイトキャッチ」、「翻訳ファインダー」、「翻訳キャプチャー」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。

- 「ジニアス英和辞典MX第2版」©MINAMIDE Kosei, NAKAMURA Mitsuo and Taishukan, 2012
- 「ジニアス英和辞典MX増補版」©MINAMIDE Kosei, NAKAMURA Mitsuo and Taishukan, 2012
- 「明鏡国語辞典MX第二版」©KITAHARA Yasuo and Taishukan, 2012

PhotoScouter®は株式会社モルフォの登録商標または商標です。

「Twitter」の名称、ロゴは、Twitter, Inc. の登録商標です。

「スグデコ！」は、株式会社アイフリークの登録商標です。

UULA®は株式会社UULAの登録商標です。

MyScript® Stylus Mobileは、ビジョン・オブジェクト S.A. (ビジョンオブジェクト)の商標です。MyScript® Stylus Mobile is a trademark of VISION OBJECTS.

Facebook®およびFacebookロゴは、Facebook, Inc. の商標または登録商標です。

McAfee およびその他のマークは、米国人McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。セキュリティを連想させる赤はMcAfeeブランド製品独自の色です。

AOSS™は株式会社バッファローの商標です。

Internet SagiWallは、BBソフトウェア株式会社の商標または登録商標です。

「モバイルSuica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

Powered by emblend Copyright 2009-2010 Aplix Corporation. All rights reserved. emblendは、日本における株式会社アプリックスの製品名です。

本製品は、株式会社ACCESSの技術提供を受けております。

©2011 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
Copyright © 2009 The Android Open Source Project

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");

you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

ACCESS、ACCESSロゴは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。

The logo for ACCESS, featuring the word "ACCESS" in a bold, sans-serif font. The letter "C" is stylized with a dot above it, and the letter "S" has a dot above it as well. A trademark symbol (TM) is located to the right of the word.

「知恵袋」はヤフー株式会社の登録商標です。

「Yahoo!」および「Yahoo!」のロゴマークは、米国 Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。

☞は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

FeliCa is a contactless IC card technology developed by Sony Corporation.

FeliCa is a trademark of Sony Corporation.

「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

Copyright © 2012 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

「mixi」は、株式会社ミクシィの登録商標です。

「TSUTAYA」は、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社の登録商標です。

ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国 Rovi Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

デコレメール、S!メール、楽デコ、スマセレはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

©SoftBank Mobile Corp. /Powered by MediaDo

SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

その他の記載している会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

携帯電話機の比吸収率^{※1} (SAR)について

この機種【303SH】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準^{※1}は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg^{※2}の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

この携帯電話機【303SH】の、SARは0.570W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

側頭部以外の位置でご使用になる場合

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。チャリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインに適合します^{※3}。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/index02.html>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 平成9年に(旧)郵政省電気通信技術審議会により答申された「電波防護指針」に規定されています。

※3 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に情報通信審議会より答申されています。

電波ばく露の影響に関する情報として、米国連邦通信委員会(FCC)の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送られる電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、下記のとおりに従って身体に装着した場合は0.65W/kgです。

身体装着の場合: この携帯電話機【303SH】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.0センチに距離を保つ位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.0センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率(SAR)に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety (英文のみ)
<http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/>

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機【303SH】は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送られる電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSARの許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.520W/kgです。SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。

世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関(英文のみ)
<http://www.who.int/emf>
SoftBank スマートフォン 各機種の電波比吸収率(SAR) 一覧はこちら
<http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/>

保証とアフターサービス

■ 保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書がついております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録/設定した内容が消失/変化する場合がありますので、大切な電話帳などは定期的にバックアップをとっておかれることをおすすめします。なお、故障、修理、機種変更の際や、その他の取り扱いなどによって、本機に登録したデータ(電話帳/音楽/静止画/動画など)や設定した内容が消失/変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解/改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼ったり、接着剤などで本製品に装飾を施すと、改造とみなされることがあり、修理をお引き受けできない場合があります。

■ アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お問い合わせ先(裏表紙)または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。

その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先(裏表紙)までご連絡ください。

Quick Tips

Before Using Handset

Charge handset before powering on for the first time (not adequately charged at time of purchase).

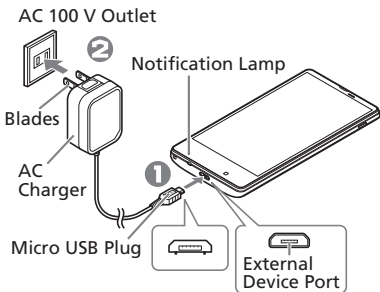
- Handset may not power on when charge is low.
- If handset does not power on even after charging, contact a SoftBank Shop.

Accessories

- AC Charger (SHCEJ1)
- microSD Card (complimentary sample, preinstalled)

(Battery is built into handset; handset back cover is not removable.)

Charging (AC Charger)



1 Insert Micro USB plug into External Device port

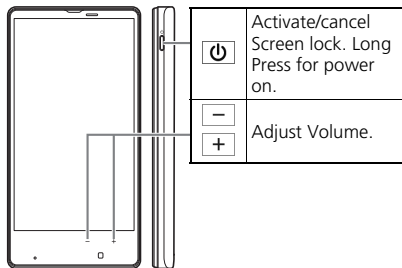
- Insert Micro USB plug in correct orientation; otherwise, External Device port may be damaged. Confirm contours and orientation of Micro USB plug before inserting it.

2 Extend blades and plug AC Charger into AC outlet

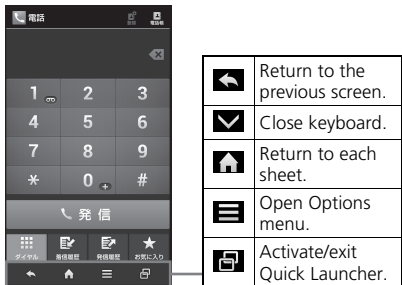
- Check that Notification Lamp illuminates red (Notification Lamp illuminates green when charge is almost full).
- Notification Lamp goes out when charge is full.

3 After charging, remove Micro USB plug from External Device Port, then unplug AC Charger and retract blades

Handset Keys



Navigation Bar



Basic Operations

Power On/Off

Power On

(Long Press)

After Powering On for the First Time
Drag down **Change interface to English** (See "English Interface" below)

Screen Lock

After a period of inactivity or Pressing , Display goes completely dark and Screen lock activates. To cancel, Press then Drag down.

Power Off

(Long Press) **Power off** **OK**

English Interface

In application sheet, (設定) **その他の設定** **言語と文字入力** **言語 (Language)** **を選択** **English**

My Phone Number

In application sheet, (Settings) **Profile**

SoftBank Customer Support

General Information

From a SoftBank handset, dial toll free at 157.

General Notes

Handset

Do not disassemble or modify handset.

Electromagnetic Safety in Europe

For body-worn operation, this mobile phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

CE Declaration of Conformity

CE 0168 

In some countries/regions including Europe, there are restrictions on the use of 5 GHz WLAN that may limit the use to indoors only.

If you intend to use 5 GHz WLAN on the device, check the local laws and regulations beforehand.

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that 3035H is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.

A copy of the original declaration of conformity for each model can be found at the following Internet address:
<http://www.sharp.com.jp/k-tai/>

Battery Cautions

Use specified Charger only.

Non-specified equipment use may cause Internal Battery to leak, overheat, burst or ignite, and may cause Charger to overheat, ignite, malfunction, etc.

Battery is built into handset. Do not dispose of handset with ordinary refuse; take it to a SoftBank Shop for appropriate disposal.

Charge handset in ambient temperature 5°C - 35°C; Internal Battery may leak/overheat and performance may deteriorate outside this range.

Mobile Light

Do not shine Mobile Light in eyes. May temporarily affect eyesight or startle, leading to accidents.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.627 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this User Guide**. In this case, the highest tested SAR value is 0.520 W/kg***. As SAR is measured utilizing the device's highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

*The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

**Please see "Electromagnetic Safety in Europe" on P.38 for important notes regarding body-worn operation.

***A method of measuring SAR when a mobile phone is used at positions other than at the ear was established in March 2010 through an international standard (IEC62209-2).

World Health Organization

<http://www.who.int/emf>

List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by smartphone model

<http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/>
(Japanese)

■ Volume Level Caution



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Headphone Signal Level

The maximum output voltage for Music Player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 122.5 mV.

■ 5 GHz WLAN Operation in USA

Within the 5.15-5.25 GHz band, U-NII devices are restricted to indoor operations to reduce any potential for harmful interference to co-channel Mobile Satellite Services (MSS) operations.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

■ FCC Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

■ FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.56 W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is 0.65 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly. The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/> after searching on FCC ID APYHRO00203.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/>.

Memo

Memo

Memo

Memo

Memo

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ソフトバンクカスタマーサポート

総合案内

ソフトバンク携帯電話から 157 (無料)
一般電話から ☎ 0800-919-0157 (無料)

紛失・故障受付

ソフトバンク携帯電話から 113 (無料)
一般電話から ☎ 0800-919-0113 (無料)

IP電話などでフリーコールが繋がらない場合は、恐れ入りますが下記の番号へおかけください。

| | | | |
|-------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 東日本地域 | 022-380-4380 (有料) | 東海地域 | 052-388-2002 (有料) |
| 関西地域 | 06-7669-0180 (有料) | 中国・四国・九州・ 沖縄地域 | 092-687-0010 (有料) |

スマートフォン テクニカルサポートセンター

スマートフォンの操作案内はこちら

ソフトバンク携帯電話から 151 (無料) 一般電話から ☎ 0800-1700-151 (無料)

ソフトバンクモバイル国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡

+81-92-687-0025 (有料、ソフトバンク携帯電話からは無料)

2014年2月 第1版発行 ソフトバンクモバイル株式会社
製造元:シャープ株式会社

この印刷物は再生紙を使用しています。